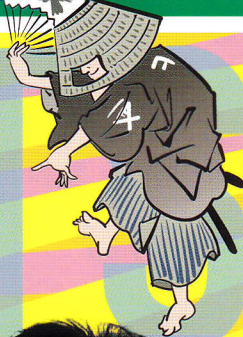




活弁は、昔の無声映画に語りをつける日本独自の芸能です。かつて浅草は、日本一の映画興行街として栄え、多くの活弁の弁士たちは浅草でその話術を磨きました。老若男女問わずお楽しみいただけますので、どうぞお気軽にお立ち寄りください。

みんなが活弁を楽しまい！

か
つ
べ
ん



活弁演目..

「**国定忠治**」

「**血煙り高田の馬場**」

「**野狐三次**」

「**血煙り荒神山**」

「**チャップリンの短編集**」



5月4日(日)

令和7年

開場13:45 開演14:00 (終演予定15:45)

浅草文化観光センター6階

多目的スペース (台東区雷門2-18-9)

料金:無料

出演:

麻生八咫、麻生子八咫

活弁教室の有志たち

江口裕行 加藤金治 木村理恵 小杉美智子

小西健司 鈴木恵子 前田昌彦 松原匠

宮永真幸 明珍亜依

※都合により出演者が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

主催:浅草活弁祭り実行委員会 後援:台東区

活弁士/麻生八咫 (あそうやた)

獨協大学卒業後、役者として一人芝居「日傘と剃刀」全国400回公演。活弁士・池俊行氏の活弁「坂本龍馬」との感動の出会いにより活弁士となる。1995年文化庁主催「ジャパン映画フェスティバル」(イタリア)公演。1998年活弁界初の文部大臣賞受賞。2005年より麻生八咫と子八咫の「活弁教室」主宰。毎年「浅草活弁祭り」「浅草オペラ」公演など主催。大分県カボス特命大使。豊後大野市ふるさと大使。埼玉坂本龍馬会名誉会長。著作「映画ライブそれが人生」(麻生八咫・子八咫共著)。

朗読CD「名人伝/山月記」発売中。 <http://www.katsuben.com>



活弁士/麻生子八咫 (あそうこやた)

父・麻生八咫の活弁を観て育ち、10歳で浅草木馬亭よりデビュー。2003年第48回文部科学大臣杯全国青年弁論大会・文部科学大臣杯受賞。2008年高校の英語教科書『All Aboard II』(東京書籍)に「A Young Katsubenshi」として紹介される。2016年麻生八咫・子八咫の記念切手発売。2020年3月東京大学大学院総合文化研究科博士課程単位取得満期退学。司会、英語活弁、講演会、脚本、演出、諸芸能等、さまざまな舞台活動を行う。日本弁論連盟理事。「月刊浅草」副編集長。埼玉県鴻巣市「こうのす観光大使」。

大分県豊後大野市ふるさと大使。

©戒康友